

“私たちの”支えあいプラン

第4期柏市地域健康福祉活動計画

[中間期 見直し追加版]

[目 次]

I	計画の見直しにあたって	1
1	計画策定の目的と位置づけ	1
2	計画見直しの背景	1
II	社会環境等の変化と新たな地域課題	3
1	地域福祉を取り巻く新たな課題	3
2	社会福祉法の改正による重層的支援体制整備事業の創設	3
III	地域共生社会の実現に向けて	4
1	重層的支援体制整備事業における社協の役割	4
2	地域福祉の新たな展開	6
IV	社協アクションプラン	7
1	社協アクションプランの取り組み	7
2	具体的な取り組みの見直し	7
V	社協発展・強化計画	9
1	社協の使命と経営理念の見直し	9
2	具体的な方針の見直し	9
VI	地区別計画	10
1	地区別計画の取り組み	10
2	地区別計画の見直し	10

社会福祉法人 柏市社会福祉協議会

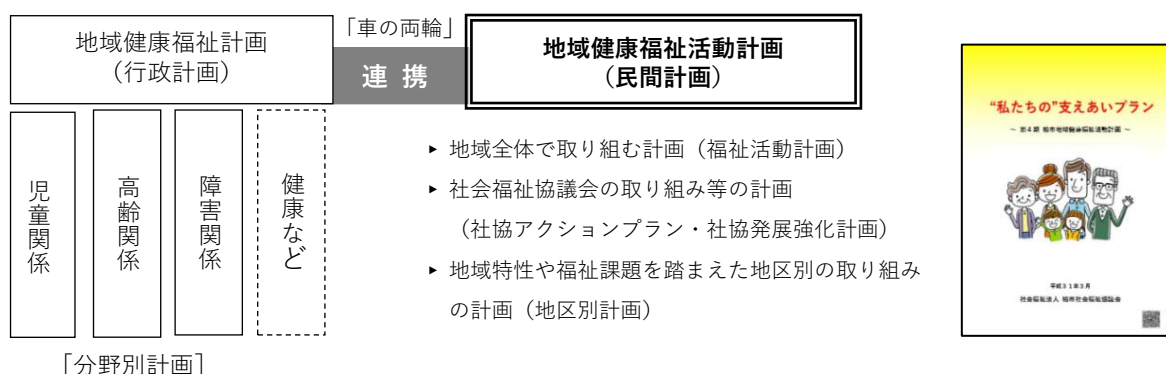
I 計画の見直しにあたって

1 計画策定の目的と位置づけ

柏市社会福祉協議会（以下、「柏社協」）では、地域共生社会の実現に向けて、市民や地域が主体となり“つながり”と“支えあい”のあるまちづくりを推進するため、第4期柏市地域健康福祉活動計画「私たちの”支えあいプラン”」（以下、「本計画」）を平成31年3月に策定しました。

本計画は、柏市が策定する地域健康福祉計画とともに柏市が目指す分野別計画等の健康福祉像を共有し、これと連携を図りながら各種の取り組みを進めています。

■ 地域健康福祉計画と地域健康福祉活動計画との関係 ■



2 計画見直しの背景

本計画では、計画期間（平成31年度～令和6年度）の中間年に計画の進捗状況や社会環境の変化に応じて必要な見直しを行うことを定めています。

前半期においては、令和2年度に社会福祉法の改正が行われ、新型コロナウイルス感染症の流行による市民生活への影響等、社会環境等に大きな変化があったことから、それらに対応する取り組みが求められています。

また、各施策の目標達成に向けての検証や評価では、一定の進捗があったものの、新型コロナウイルス感染症の流行により、当初に計画した事業の中止や内容の変更等が避けられない状況となっています。

さらに、地域の取り組みを計画化した「地区別計画」については、地域活動が困難となる中で各地区の意向に基づき必要な見直しを行うこととしています。

■ 社協アクションプラン中間評価 ■

	項 目	令和 元年度	令和 2年度
1 地域・団体 ネットワーク づくり	(1) 地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進	◎	○
	(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての地域支援の実施	△	△
	(3) ふるさと協議会や町会等、地域組織との連携の強化	○	○
	(4) ゆるやかなネットワークの構築	◎	○
	(5) たすけあいの重層化の推進	△	△
	(6) 支えあい団体を利用しやすい環境づくり	○	○
2 新たなしくみや活動 づくり	(1) 多様な居場所づくりの推進	◎	◎
	(2) 支えあい活動の推進	◎	◎
	(3) 見守りのしくみづくりと支援	△	△
	(4) 効果的な介護予防活動の創造と普及	◎	△
	(5) 新たな福祉課題へのモデル的な活動の実施	△	○
	(6) 空き家の活用等に関する研究	△	○
	(7) 子育て支援拠点の充実	◎	◎
	(8) 成年後見制度の利用促進	◎	◎
	(9) 日常的な活動等に障害者も参加できる環境づくり	○	△
3 人材の 育成や活用、 支援	(1) 我が事意識の醸成に向けた福祉教育の推進	○	△
	(2) ボランティアコーディネート機能の充実	○	△
	(3) 活動の場までつなぐ人材の育成	○	△
	(4) プロボノの研究	○	△
	(5) ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援	○	△
	(6) モデル活動の実施と「地域づくり」との連動	△	○
	(7) 介護予防を通じた地域活動の支援	○	△
4 生活課題 解決への 取り組み	(1) 総合相談（貸付等）を窓口とした生活課題解決へのアプローチ	◎	○
	(2) 相談の集約と分析による新たな福祉課題への対応	△	△
	(3) 複合的な福祉課題解決への連携と支援	○	○
	(4) 福祉サービス利用援助事業の速やかな利用に向けた体制づくり	△	△
	(5) 権利擁護の切れ目ない支援	◎	○
	(6) 介護予防事業の効果的な実施	○	△
	(7) 新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施	○	○
	(8) 移動困難者への支援	○	○
	(9) 地域組織との連携による地域包括ケアシステムのモデル展開と普及	△	△
5 情報発信・普及 啓発	(1) 地域共生社会の普及啓発	◎	○
	(2) 福祉課題の社会化（見える化）	△	○
	(3) 全世代を対象とした意思決定支援の普及啓発と実施	△	△
	(4) 障害者のスポーツを通じた理解促進	○	△
	(5) 寄附文化の醸成	△	△

II 社会環境等の変化と新たな地域課題

1 地域福祉を取り巻く新たな課題

介護と育児のダブルケアや8050問題とともに、コロナ禍の雇用不安による生活困窮世帯や貧困の状況にある子どもの増加、引きこもりや虐待、DV等の複雑化・複合化した課題を抱える世帯への支援が求められています。

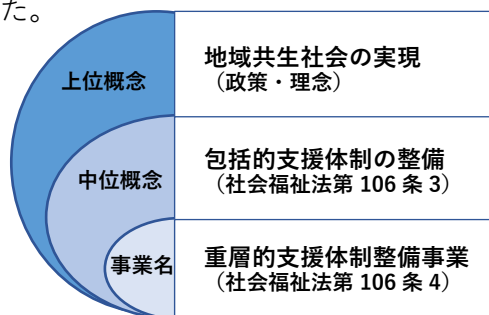
また、新型コロナウイルス感染症の流行により、互いに距離をとり接触の機会を減らすことが求められ、地域住民等による福祉活動やボランティア活動は中止や延期等の自粛を余儀なくされました。令和3年7月に柏市が実施した市民アンケート結果でも85%以上の市民が「外出する機会が減った」と回答し、高齢者の虚弱化や認知機能の低下、社会的孤独・孤立等による健康への影響が懸念されています。

2 社会福祉法の改正による重層的支援体制整備事業の創設

地域共生社会の実現に向けて、国においては令和2年6月に社会福祉法が改正され、「重層的支援体制整備事業」が新たに創設されました。

これは、複雑化・複合化している地域住民の生活課題に対し、従来からの分野毎の縦割りを解消し、柔軟な事業展開と複数の機関が連携して包括的な相談支援を行うとともに、地域住民による地域づくりを効果的に進めていくものです。

包括的相談支援、地域づくりと参加支援は柏社協の役割が今後さらに重要性を増すものとなっています。

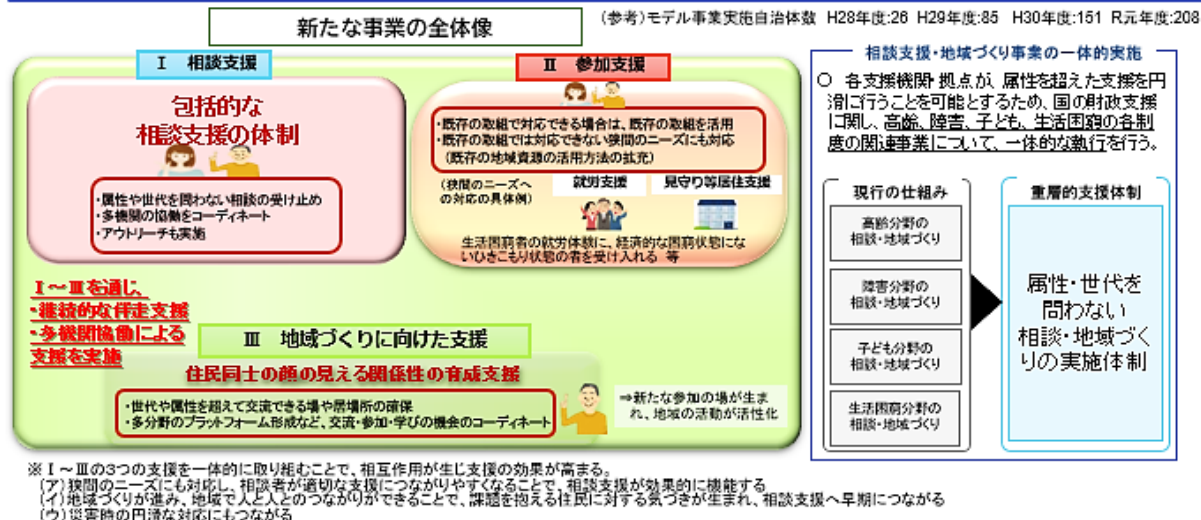


[事業の位置づけイメージ]

厚労省 HP より

社会福祉法に基づく新たな事業「重層的支援体制整備事業」の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援、II 参加支援、III 地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設**する。
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく**任意事業**。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくりに関連する業務等について一体的に執行できるよう、**交付金を交付**する。

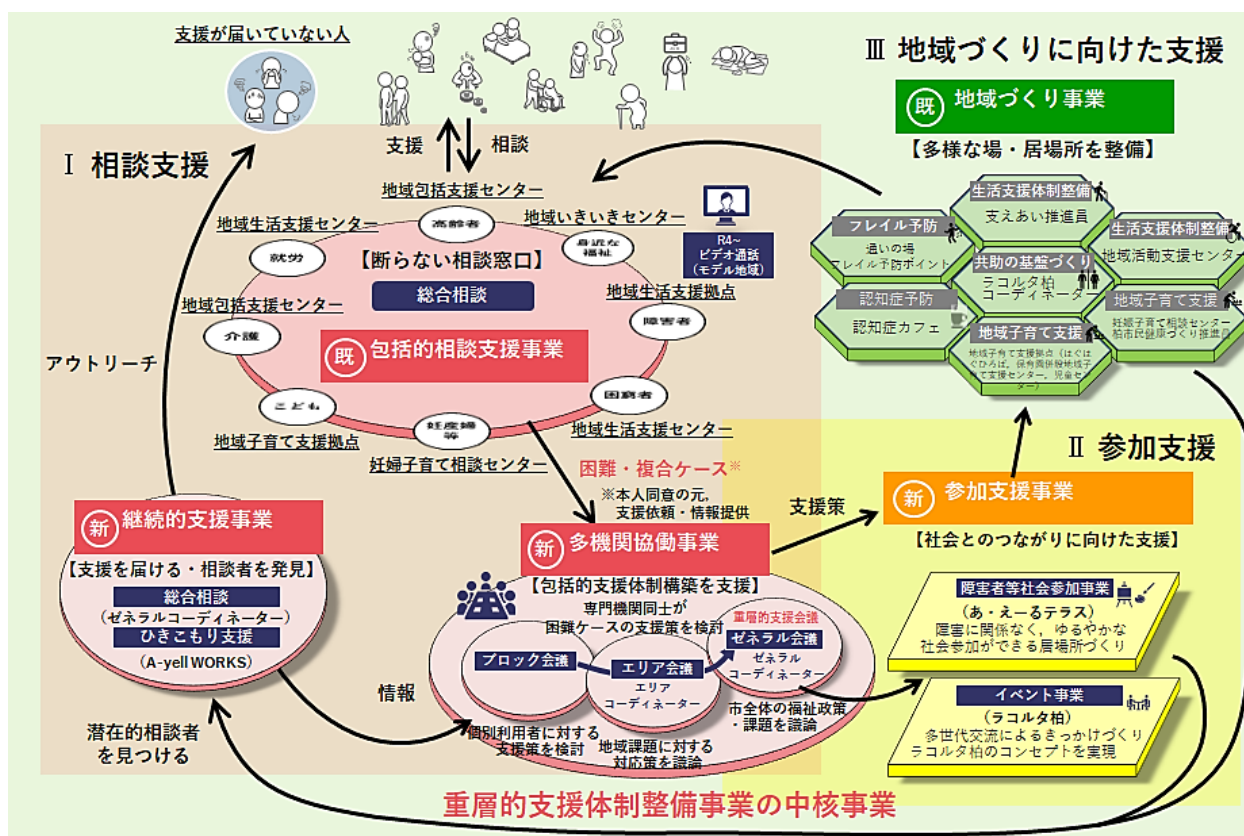


III 地域共生社会の実現に向けて

1 重層的支援体制整備事業における社協の役割

柏市における「重層的支援体制整備事業」は令和4年度から開始される予定です。柏社協では、これまで培ってきた相談支援や地域づくり、参加支援の機能の充実を図りながら、「複合ケース等の伴走支援と多機関連携づくり」の取り組みを進めていきます。

■ 柏市の重層的支援体制の全体像 ■



第4期柏市地域健康福祉計画中間年度見直し版より

(1) 包括的相談支援（断らない相談）

柏社協が実施する各相談窓口では、相談者の属性や世代、相談内容等に関わらず、地域住民からの相談を幅広く受け止め、本人に寄り添いながら抱える課題の解決を図ります。

特にコミュニティエリアに設置する「地域いきいきセンター」は、地域における身近な相談窓口として、民生委員児童委員等と連携し、制度の狭間に陥りがちな対象者の支援に努めていきます。

(2) 参加支援

本人や世帯のニーズ・課題に向き合い、柏社協が培ってきた地域との関係を活かし、各種の社会資源や住民活動とのつながりへの支援を行っていきます。

また、ラコルタ柏においては、「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」の実現に向けて、幅広い市民との学びや対話により協働した社会参加と居場所づくり等を推進していきます。

(3) 地域づくり

柏社協では、ふる協（地区社協）の地域活動を支援するとともに、幅広い関係者との協働によって支えあい活動や通いの場の創設等を推進してきました。個別の課題を地域の課題として捉え、安心してその人らしく暮らしていける地域づくりのため、より一層地域力（※）の強化に寄与していきます。

[※地域力：助けてと言える、助けることができる力量をもった市民の力]

(4) 多機関協働

複雑化・複合化した日常生活課題や制度の狭間にある課題等を各機関が連携して包括的に支援するための調整機能が必要となります。「地域いきいきセンター」は自らの相談支援を実施するとともに、市内を4分割したエリアの調整役として支援の方向性や支援機関間の役割分担等の機能を果たしていきます。

■ 関連する柏社協の事業 ■

機能	事業名	市受託事業
包括的相談支援	高齢者） 沼南地域包括支援センター事業	●
	全世代） かしわ福祉権利擁護センター事業	●
	子ども） 利用者支援事業（みずたま相談室）	●
	全世代） 地域いきいきセンター事業	
参加支援	全世代） 総合福祉センターイベント開催事業	●
	全世代） 地域いきいきセンター事業	
地域づくり	高齢者） 生活支援体制整備事業	●
	子ども） 地域子育て支援拠点事業（はぐはぐ広場）	●
	全世代） 地域いきいきセンター事業	
	全世代） 地区社協支援事業（地区担当職員配置）	
多機関協働	全世代） 地域いきいきセンター事業	

2 地域福祉の新たな展開

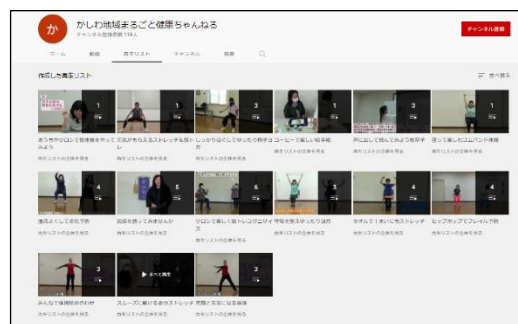
コロナ禍の中で人と人、人と社会とのつながりや支えあい・助けあいの大切さをあらためて認識する機会となったことで、つながりを途切れさせないためにオンライン等を活用した多様な取り組みが多く生まれています。こうして工夫しながら積み上げてきた、“つながりを絶やさない”ための活動事例等を財産として、これからの情勢の変化に柔軟に対応した事業展開を進めていきます。

さらには、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」との連携を意識し、地域における生活課題に対する社会福祉法人の積極的な取り組みを働きかけていくとともに、柏市内のネットワークの構築を進めていきます。

■ “つながりを絶やさない”ための活動事例 ■

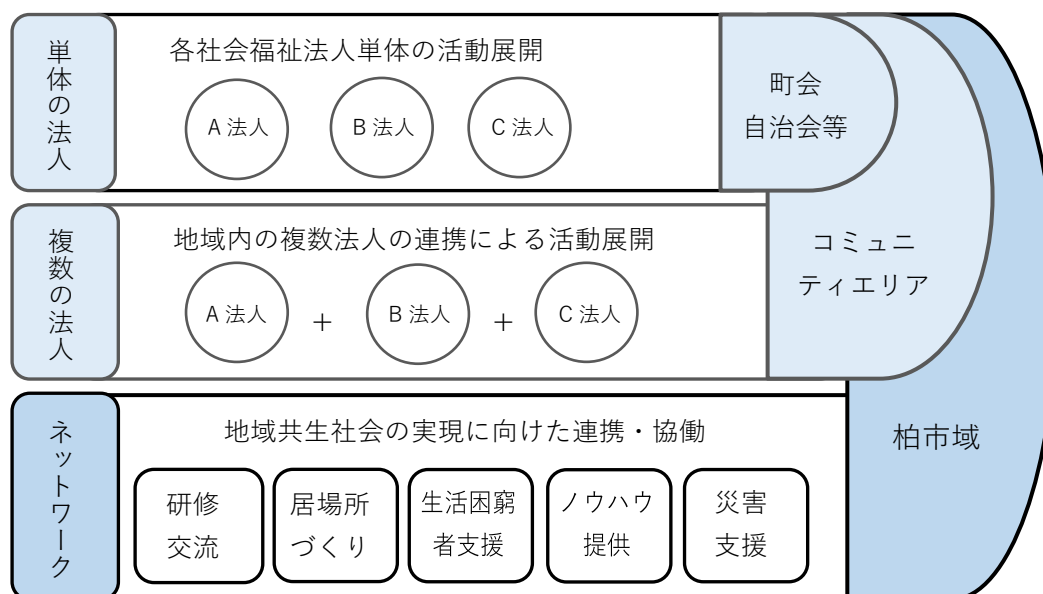


ZOOM を活用した「オンライン交流会」



動画配信「かしわ地域まるごと健康ちゃんねる」

■ 社会福祉法人のネットワークイメージ ■



IV 社協アクションプラン

1 社協アクションプランの取り組み

地域共生社会の実現に向けて、柏社協が実施すべき取り組みを具体的に示したものが社協アクションプランです。

行政の動向や柏市の地域課題等を踏まえ、4 頁から 6 頁に掲げた方向性や計画策定後に変化があった施策について見直しを行いました。

2 具体的な取り組みの見直し（見直し後の該当箇所のみ記載）

(1) 地域・団体支援、ネットワークづくり

新 ■地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進

見直し内容	見直しの理由	本体計画
新規追加	計画策定後に開設した「地域いきいきセンター」3 拠点の目標値を新たに設定する	34 頁

・田中地域いきいきセンター

評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
各センター単位の年間利用件数及び内 相談件数と内地域支援数	目標値(単年)	1,150 件		1,200 件
	内相談件数	86 件		89 件
	内地域支援数	939 件		940 件

・南部地域いきいきセンター

評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
同上	目標値(単年)	610 件		660 件
	内相談件数	116 件		119 件
	内地域支援数	296 件		310 件

・新富地域いきいきセンター

評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
同上	目標値(単年)	575 件		625 件
	内相談件数	90 件		93 件
	内地域支援数	280 件		294 件

修 ■ゆるやかなネットワークの構築

・分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

見直し内容	見直しの理由			本体計画
目標値の修正	ネットワーク組織設立に向けた準備会を発足し、定期的に検討、情報共有を実施しているため、目標値を上方修正する			36 頁
評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	分野を超えた社会福祉法人の連携の場 の実施回数	実施年度 目標値(単年)	実施 6 回	⇒ 7 回

(2) 新たなしくみや活動づくり

終 ■効果的な介護予防活動の創造と普及

見直し内容	見直しの理由	本体計画
実践終了	計画3年目をもち、柏市からの介護予防事業の受託が終了となったため実践終了とする	38 頁

(3) 人材の育成や活用、支援

修 ■モデル活動の実施と「地域づくり」との連動

見直し内容	見直しの理由	本体計画
施策の修正	地域いきいきセンターだけでなく、総合福祉センター（多世代交流）での成功事例を共有し横展開を図るため、施策内容を一部修正する	42 頁
施策の修正		
地域いきいきセンターや総合福祉センター（多世代交流）等で実施したモデル的な成功事例を共有し、横展開を図ります		

修 ■介護予防を通じた地域活動の支援

見直し内容	見直しの理由			本体計画
全体的に修正	柏市からの介護予防事業の受託終了に伴い、これまでのノウハウを活かした地域活動支援を展開していくために全体的な修正を行う			43 頁
施策の修正				
介護予防事業のノウハウを活かし、つながりを絶やさないよう情報提供や人材育成に取り組みます				
評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
サロン等の活動支援として、介護予防の 情報発信（紙面や動画等）ができたか	実施年度	実施	⇒	⇒
	目標値(単年)	実施		実施

(4) 生活課題解決への取り組み

新 ■複合的な福祉課題解決への連携と支援

見直し内容	見直しの理由	本体計画
新規追加	課題解決に向けた検討の場だけでなく、相談支援機関と連携した伴走支援の位置づけを行う	44 頁

・複合的課題を抱えたケース等の伴走支援

評価指標 (考え方)		4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
複合的な福祉課題の解決に向けて、相談 支援機関と連携した伴走支援活動延件数	実施年度	実施	⇒	⇒
	目標値(単年)	240 件		280 件

終 ■介護予防事業の効果的な実施

・介護予防センター以外での介護予防事業の実施

見直し内容	見直しの理由	本体計画
実践終了	計画3年目（令和3年度末）をもって、柏市からの介護予防事業の受託が終了となったため実践終了とする	45 頁

修 … 修正 / 新 … 新規追加 / 終 … 実践終了

V 社協発展・強化計画

1 社協の使命と経営理念の見直し [本体計画 51 頁]

社会福祉法の改正や地域生活課題の変化等を踏まえ、全国社会福祉協議会では、令和 2 年 7 月に「市区町村社協経営指針」の改定が行われました。

柏社協においても、令和 4 年度から重層的支援体制整備事業への参画が求められていることから、改定で示された方向性に基づき、社協発展・強化計画における社協の使命と経営理念等を見直しを行いました。

2 具体的な方針の見直し

(1) 社協の使命

地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支えあいながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進する。

(2) 経営理念

- ① 地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ② 誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現
- ③ 地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④ 地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創造
- ⑤ 持続可能で責任ある自律した組織経営

(3) 組織運営方針

- ① 地域に開かれた組織として、経営の透明性と中立性、公平さの確保を図るとともに、情報公開や説明責任を果たし、地域社会の支持・信頼を得られるよう、積極的な情報発信を図る。
- ② 事業の展開にあたって、「連携・協働の場」（プラットフォーム）としての役割を十分に発揮し、地域住民や関係機関・団体等、あらゆる関係者の参加と協働を徹底する。
- ③ 事業の効果測定やコスト把握等の事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自律した経営を行う。
- ④ すべての役職員は、高潔な倫理を保持し、法令を遵守する。

VI 地区別計画

1 地区別計画の取り組み

住民が地域の特性や課題、方向性等を話し合い、今後の目標を計画化したものが地区別計画です。

2 地区別計画の見直し

住民主体の地域活動においても、新型コロナウイルス感染症の流行等によって、活動の方向性に大きな変化があった場合、各地区の意向に基づき見直しを行うこととしており、以下は見直しのあった地区を掲載しています。

(1) 新富地区

見直し内容等		本体計画
取り組みの柱 1（基本方針 1）について、高齢者向けの居場所の箇所数について、現状の箇所数の修正を行う		74 頁
修正後の計画		
基本方針 1	「地域福祉実現の要諦は共助の実現如何で、町会による」を基本理念に、地域事情を加味した支えあい活動の体制確立と事業目標の設定、及び貫徹」に取り組みます！	
	①対象活動は、高齢者向けの居場所（現状 5 箇所⇒7 箇所以上）と日常生活支援（ゴミ出し支援を主に、要望に 100%対応）、及び児童向けの登下校安全化活動、並びに乳幼児の交流場所設置による育児支援 ②大きい町会は、適度なサイズに分割、 ③小さい町会は複数で協働 等の視点	

“私たちの”支えあいプラン

第4期 柏市地域健康福祉活動計画

「中間期 見直し追加版」

発行日 令和4年（2022年）3月

発 行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会

〒277-0005 千葉県柏市柏五丁目1 1 番 8 号

TEL 04-7163-9000／FAX 04-7163-9300